令和４年度事業報告

１　会員、会議等に関する事項

（1）　会員数

会員数	令和３年度末	令和４年度末	増　減
正会員	21 社	20 社	－1
賛助会員	１社	１社	－

（2）　総会

第 53 回定時総会を下記により開催した。

①　日時：令和４年６月 23 日（木）15:00～16:00

②　場所：測量年金会館２階大会議室

③　議題：第１号議案　令和３年度事業報告及び決算報告の件
　　第２号議案　令和４年度事業計画及び予算の件
　　第３号議案　役員改選の件
　　その他

④　議事経過

・瀬川会長を議長に選出し、議案の審議に入った。

・第１号議案について
　事務局による令和３年度決算の報告及び監事による監査報告の後、審議の結果原案どおり承認された。

・第２号議案について
　事務局の報告の後、原案どおり了承された。

・第３号議案について
　議長から役員の改選年である旨の説明の後、事務局より役員の改選案が提出され、議長は候補者ごとに決議を行い、理事 10 名、監事 2 名を選出することが決定された。

・その他
　議長から出席者に対し、他に提案する案件の有無を質したが、会員からの提案はなかった。

（3）　理事会

＊第１回理事会

①　日時：令和４年６月 3 日（金）15：30～16：30

②　場所：測量年金会館　会議室

③　議事

・令和４年度　第 53 回定時総会の議案について

事務局から第53回定時総会の下記議案の説明、報告があり、了承された。

議案1：令和3年度事業報告及び決算報告の件

議案2：令和4年度事業計画及び予算の件

議案3：役員改選の件

・その他

事務局から森林資源解析積算例の資料を基に標準歩掛・単価作成等の説明があり、その公表を積算ハンドブック改訂の一部として6月中に実施したい旨の報告があり、質疑を行ったうえ了解された。

その他、出席理事からの提案はなかった。

＊第2回理事会

① 日時：令和4年6月23日（木）16：10～16：25

② 場所：測量年金会館　会議室

③ 議事

・代表理事及び業務執行理事の選出について

業務執行理事の選出について、互選の結果、代表理事（会長）に瀬川信也氏を、業務執行理事（副会長）に迫　徹氏、高山　俊氏を、業務執行理事（専務理事）に小池芳正氏とすることを決定した。

＊第3回理事会

① 日時：令和4年11月15日（火）14：00～15：20

② 場所：測量年金会館　会議室

③ 議事

・令和4年度上期予算執行状況について

事務局から令和4年度上期の予算執行状況の報告があり、了承された。

・令和4年度上期業務執行報告について

事務局から令和 4 年度上期の業務執行状況について概要報告があり、その後業務執行理事(会長、副会長、専務理事)からの活動報告があり、了承された。

・その他

災害時の自主撮影に関する相談が林野庁より林測協事務局にあり、林野庁と関係各社の意見交換や自主撮影の実施状況、撮影成果の公表方法等については、事務局を窓口として協力することを確認した。

その他、出席理事からの議論を要する提案はなかった。

＊第4回理事会

① 日時：令和5年3月23日（木）15：30～16：30

② 場所：測量年金会館　会議室

③　議事

・令和 4 年度予算収支見込

事務局から令和 4 年度予算に対する 3 月末時点の収支見込の報告があり、収入、支出状況について了承された。

・令和 5 年度事業計画(案)について

事務局から令和 5 年度の事業計画案及び予算案が提案・報告された。

事業計画案は概ね了承されたが、近年会員の減少傾向が続いていること、調査・研究等の活動の重点が航空レーザ計測に置かれていること等から、これらの現状について地方会員との意見交換や情報交換を図る必要があるとの意見があり、令和 5 年度は提案の事業計画（案）のうち(3) イ．地域との情報交換会 に着目した活動計画に重点を置くこととした。

・令和 5 年度定時総会について

第 54 回定時総会は 6 月 21 日（水）に開催することが決定された。

・その他

会長から今年度で退任（交代）したい旨の申し出があり、次回理事会において会長候補者を選出（確認）することが了承された。

2 事業活動に関する事項

(1)　調査・研究・開発に関する事業報告

① 航空レーザ計測の解析

森林資源の効率的な把握等を図るため、航空レーザの解析の標準化を推進し、広活用を促す。

➡ 「森林・林業分野における航空レーザ計測積算ハンドブック」の改訂版を作成・発行する中で、森林資源解析の基本事項の検討整理を行い、同ハンドブックに反映させた。

② 航空レーザデータの更新

森林分野における航空レーザデータ活用は、既に 10 年を経過しデータ更新の手法確立が強く求められている。そこで、更新手法やニーズ、予算に合わせた手法について検討する。

➡ データ更新については、「森林・林業分野における航空レーザ計測積算ハンドブック」の改訂版を検討の中で引続き検討する。

③ 航空レーザデータの多目的活用

既に計測された航空レーザデータ又は新規に計画の航空レーザデータを活用した標準的な利活用事例（路網計画、治山計画、境界明確化等）を整理する。

➡ 「森林・林業分野における航空レーザ計測積算ハンドブック」の改訂版を検討する中でその基本事項を整理しているが、引続き検討する。

④ 会員の技術や実績（ノウハウ）で林野庁の施策を支援

林野庁の施策や事業に対して積極的に提案し参画することで、林野行政の支援に供するとともに、業界の技術を活用できる新たな市場を創る。

➡ 「森林・林業分野における航空レーザ計測積算ハンドブック」の改訂版の検討等を通して実行。

(2) 技術の普及啓蒙・情報活動の推進

① 新技術研修（勉強会）

山林境界明確化やドローン写真（レーザ）に関し、座学・現場学習など状況を踏まえた研修（勉強会）等を計画する。

➡ 新型コロナ等のため見送り。

② 地域情報交換会

地域会員への本部情報伝達を目的に、主要都市での会合を開催し、地域会員の要望を伺う機会を創出する。

➡ 新型コロナ等のため見送り。

③ 林野庁との意見交換会、予算説明会

林野庁からの当該業界に対する技術的な要望をメインテーマとして、1 回/年を定着させる。

➡ 様々な活動の機会を通じ意見交換、情報収集に努めた。

④ 各種情報の収集

森林測量に関する各種情報の収集、提供に努める。

➡ 「森林・林業分野における航空レーザ計測積算ハンドブック」の改訂版作成・発行、「災害発生時に自主撮影を実施する航空測量会社と連携した災害対応」に関する意見交換会等の機会を通じ情報収集に努めた。

(3) 講習会、講演会の開催

前年度は新型コロナウイルス感染症の影響で中止したことから、引き続き新型コロナの動向を見ながら開催に向け検討し、関係者の技術、知見の向上に努める。

➡ 新型コロナ等のため見送り。